

1.調査趣旨

- 新型コロナ危機を通じ、市民の意識、価値観が変容し、これにより市民の生活スタイル、ビジネススタイル等が大きく変化した可能性。
- 今後のまちづくりの方向を考えるにあたり、市民の日常的な行動がどのように変容し、また“マチ”に対する意識がどのように変化したのか等を把握するため、WEBアンケート調査を実施。

2.調査対象都市

- 新型コロナウイルスの感染者が多い東京都市圏及び、全国的な傾向を把握するため、全国都市交通特性調査の対象地域から都市類型や特定警戒都道府県の有無の観点から対象都市を抽出。

特定警戒都道府県	左記以外
札幌市、東京都市圏(茨城南部、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県市区町村)、金沢市、岐阜市、名古屋市、大阪市、豊中市、福岡市	盛岡市、仙台市、静岡市、四日市市、奈良市、広島市、松山市

3.調査対象

- WEBアンケート調査会社に登録しているモニターに対して調査を実施。(回収サンプル:12,872)

4.調査時期

- 令和2年8月3～25日

5.調査方法

- WEBアンケート調査会社を通じたWEBアンケート調査

6.調査項目

- 新型コロナ流行前、緊急事態宣言中(4/16～5/13)、7月末(7/30)の3時点の1日の行動時間
- 新型コロナ流行前、緊急事態宣言中(4/16～5/13)、調査時点(2020/8)の3時点の活動頻度
- 新型コロナによる意識変化等

7.本報告の留意点

- 本調査結果は、速報集計結果であり、現在、データの回収・精査・入力を並行して実施中であるため、数値は今後、変更・更新がある。

8.今後の検討項目

- 引き続き、データの精査・集計を行うとともに、今回お知らせした調査の結果の具体的な要因等について、さらなる分析を進め、個人属性、居住地特性、自粛意識等と生活行動の変化との関係性等に関する分析等を行う予定。

9.成果の活用

- 新型コロナ生活行動調査は、新型コロナ流行後の新しい生活様式に対応した、都市政策、交通政策等を立案する際の基礎情報として活用。

10.調査協力者

- 本調査は、日立東大ラボ(調査担当:出口 敦 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)と共同で実施したほか、谷口 守 筑波大学システム情報系社会工学域 教授からご指導いただいた。

全国の都市における生活・行動の変化

—新型コロナ生活行動調査（速報版）—

1 自宅での活動時間（平均活動時間）と外出率

- ・新型コロナ流行前に比べて、緊急事態宣言中、7月末時点の自宅での活動時間が増加
- ・B.特定警戒都道府県、C.東京都市圏の外出率は、7月末時点も新型コロナ流行前を下回る

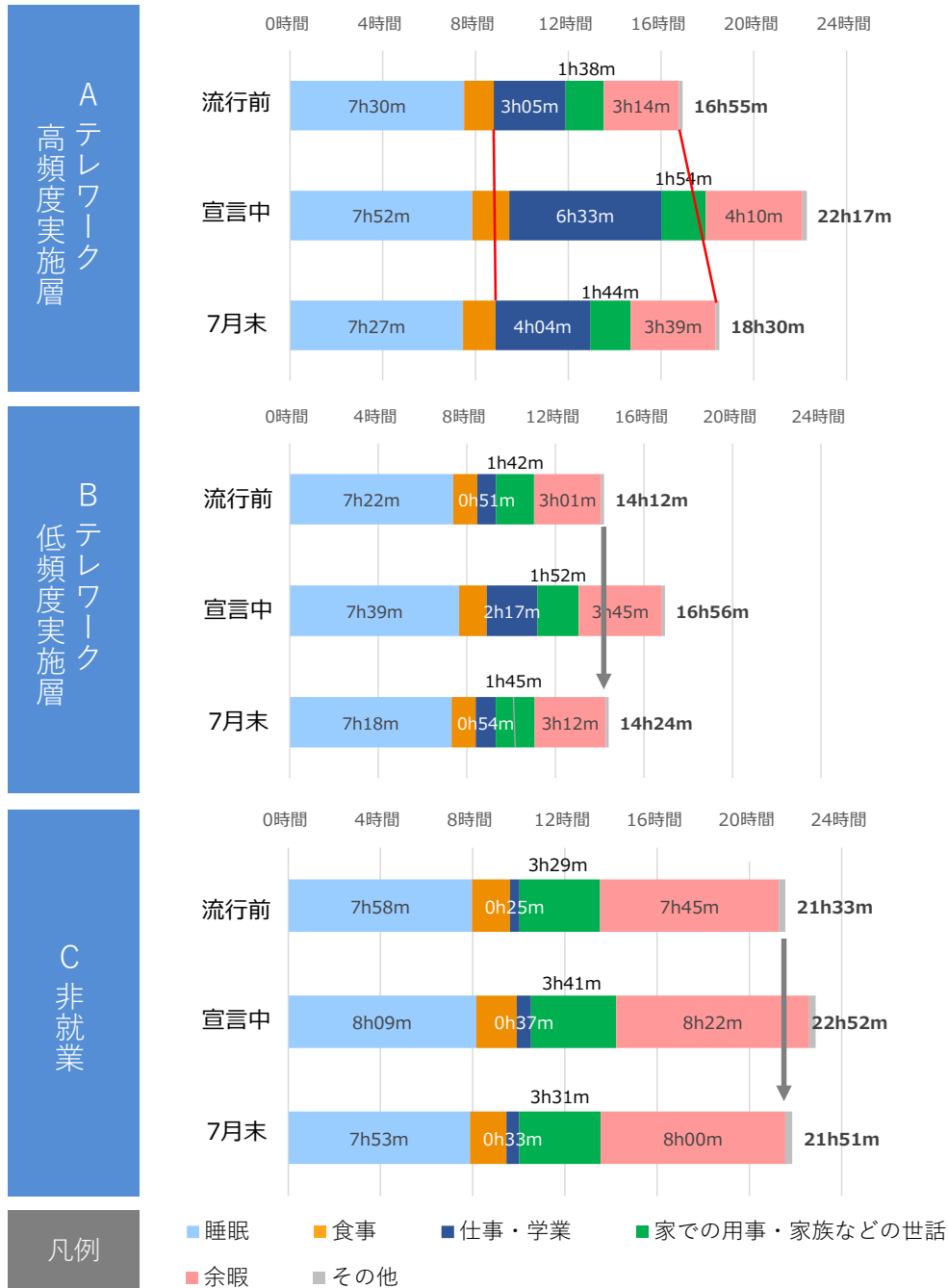


全国の都市における生活・行動の変化

—新型コロナ生活行動調査（速報版）—

2 テレワークと自宅での活動時間（平均活動時間）

- ・ A.テレワークを高頻度を実施する層の「仕事・学業」の時間は、7月末時点でも新型コロナ流行前より約1時間増加



※ テレワーク高頻度実施層：緊急事態宣言中に週4日以上勤務先以外で仕事を実施している人
 テレワーク低頻度実施層：緊急事態宣言中に週1〜3日以上勤務先以外で仕事を実施している人
 非就業：就業していない人

※ 「自宅での活動時間（平均活動時間）」は、1人が1日のうち、自宅で活動した時間の平均です。本資料では、調査対象者総数（自宅で活動した人＋自宅以外で活動した人）1人あたりの活動時間（グロス集計）としています。なお、同一の移動もしくは活動を24時間実施している人は集計の対象外としています。

全国の都市における生活・行動の変化

— 新型コロナ生活行動調査（速報版） —





3 活動別の外出頻度（週あたり外出日数）

・ B.特定警戒都道府県やC.東京都市圏では、仕事での勤務先への外出が、新型コロナ流行前よりも調査時点(2020年8月)において1日程度減少

目的	時期	A 全国		B 特定警戒都道府県		C 東京都市圏		D 特定警戒都道府県以外	
		外出頻度(日)	流行前との差	外出頻度(日)	流行前との差	外出頻度(日)	流行前との差	外出頻度(日)	流行前との差
① (勤務先への)仕事	流行前	4.2		4.1		4.0		4.3	
	宣言中	2.6	-1.5	2.4	-1.7	2.0	-2.0	3.3	-1.0
	調査時点	3.4	-0.7	3.2	-0.9	2.9	-1.1	3.9	-0.4
② 食料品・日用品の買い物	流行前	2.4		2.4		2.4		2.3	
	宣言中	1.8	-0.6	1.8	-0.6	1.8	-0.6	1.8	-0.5
	調査時点	2.1	-0.3	2.1	-0.3	2.0	-0.4	2.1	-0.2
③ 食料品・日用品以外の買い物	流行前	1.1		1.1		1.1		1.2	
	宣言中	0.9	-0.2	0.9	-0.2	0.8	-0.2	1.0	-0.2
	調査時点	1.0	-0.1	1.0	-0.1	1.0	-0.1	1.1	-0.1
④ 外食	流行前	1.4		1.4		1.5		1.4	
	宣言中	0.8	-0.6	0.8	-0.7	0.7	-0.7	0.9	-0.5
	調査時点	1.0	-0.4	1.0	-0.5	0.9	-0.5	1.1	-0.3
⑤ 散歩・休憩・子どもとの遊び等の軽い運動・休養・育児	流行前	1.3		1.3		1.4		1.1	
	宣言中	1.1	-0.2	1.1	-0.2	1.2	-0.2	1.0	-0.2
	調査時点	1.1	-0.2	1.1	-0.2	1.2	-0.2	1.0	-0.1
⑥ 映画鑑賞・コンサート・スポーツ等々の趣味・娯楽	流行前	0.5		0.5		0.5		0.5	
	宣言中	0.2	-0.3	0.2	-0.3	0.2	-0.3	0.3	-0.2
	調査時点	0.3	-0.2	0.3	-0.2	0.3	-0.2	0.4	-0.1

4 活動別の最も頻繁に訪れた場所（新型コロナ流行前から調査時点(2020年8月)への変化）

・ いずれの地域も、③外食や④⑤趣味・娯楽の活動場所が、c.自宅から離れた都心・中心市街地からa.自宅周辺にシフト

活動種類	地域	a 自宅周辺		b 勤務地・学校周辺		c 自宅から離れた都心・中心市街地		d 自宅から離れた郊外	
									
① 食料品・日用品の買い物	A 全国		1%	1%		-1%		-1%	
	B 特定警戒都道府県		1%	0%		-1%		-1%	
	C 東京都市圏		1%	0%		-1%		0%	
	D 特定警戒都道府県以外		0%	1%		-1%		-1%	
② 食料品・日用品以外の買い物	A 全国		4%	1%		-4%		-1%	
	B 特定警戒都道府県		5%	1%		-4%		-2%	
	C 東京都市圏		5%	1%		-5%		-1%	
	D 特定警戒都道府県以外		2%	1%		-2%		-1%	
③ 外食	A 全国		11%	-2%		-12%		2%	
	B 特定警戒都道府県		12%	-2%		-12%		1%	
	C 東京都市圏		14%	-3%		-13%		1%	
	D 特定警戒都道府県以外		8%	0%		-11%		2%	
④ 散歩・休憩・子どもとの遊び等の軽い運動・休養・育児	A 全国		5%	0%		-3%		-2%	
	B 特定警戒都道府県		5%	0%		-4%		-2%	
	C 東京都市圏		5%	0%		-4%		-2%	
	D 特定警戒都道府県以外		6%	-1%		-2%		-3%	
⑤ 映画鑑賞・コンサート・スポーツ等々の趣味・娯楽	A 全国		11%	3%		-15%		0%	
	B 特定警戒都道府県		11%	3%		-16%		0%	
	C 東京都市圏		13%	3%		-19%		1%	
	D 特定警戒都道府県以外		11%	3%		-12%		-3%	

全国の都市における生活・行動の変化

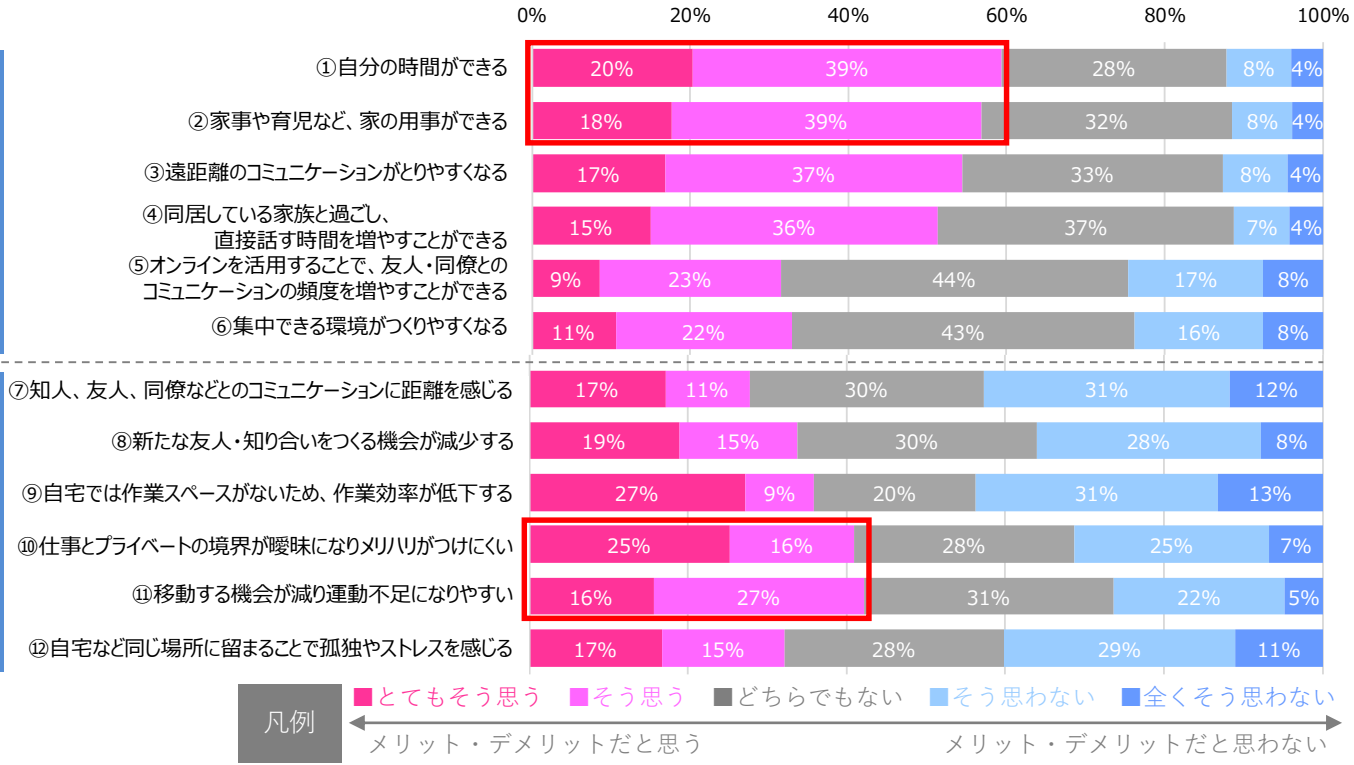
—新型コロナ生活行動調査（速報版）—

5 リモート活動のメリット・デメリット

・リモート活動のメリットは、①自分の時間ができる、②家事や育児ができること。デメリットは、⑩運動不足になりやすい、⑩仕事とプライベートのメリハリがつけにくいとの回答が多い

メリット

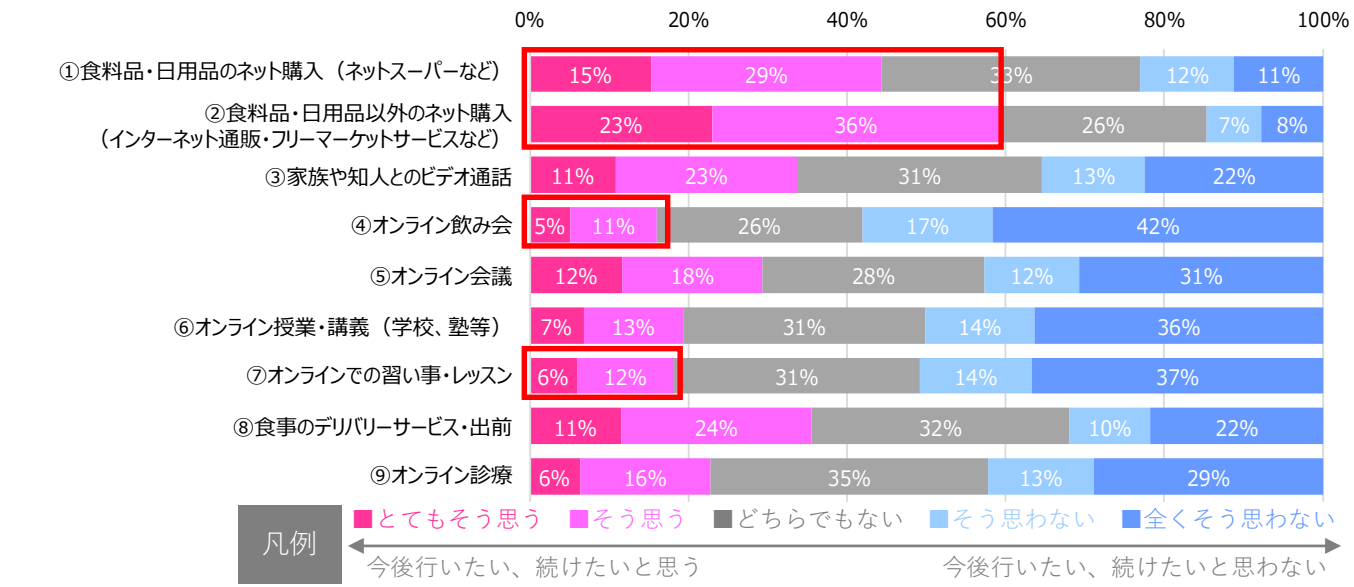
デメリット



※自分の生活にあてはまらないとの回答者は集計対象外としています。

6 リモート活動の今後の実施意向

・①②ネット購入（食料品・日用品を含む商品）の実施意向は高く、④オンライン飲み会や⑥オンライン授業・講義、⑦オンラインでの習い事・レッスンの実施意向は低い



※わからないとの回答者は集計対象外としています。

7 都市空間に対する意識（充実してほしい空間）

- ①ゆとりある屋外空間の充実、②自転車や徒歩で回遊できる空間の充実に対するニーズが高い

